

東京都立松沢病院 ペイシェント・ハラスメント に関する対応方針

当院では、次のような著しい迷惑行為を「ペイシェント・ハラスメント」として禁止しています。言動の内容に問題があるものはもちろん、内容に正当性があるとしても態様・方法に問題があるものも、ペイシェント・ハラスメントに当たる可能性があります。

これらは当院と患者さんとの信頼関係を喪失させるものであり、これらの行為が認められた場合、他の患者さん、来院者、職員等の安全確保及び当院の医療提供体制維持のため、退院・退去を命じること、警察介入を依頼すること、今後の診療その他の対応をお断りすることがありますので、あらかじめご理解とご協力をお願いいたします。

- 1 他の病院利用者または病院職員に対する暴力、脅迫その他の違法行為、もしくはその恐れがある行為
- 2 正当な理由のない過度な要求、不当な言いがかり
- 3 他の病院利用者や病院職員の尊厳や人格を傷つけるような言動（暴言、威圧的な言動など）
- 4 病院職員の業務を不当に妨害すること（必要限度を超えて対応を強要する、何回も同じ要求を繰り返す、職員を長時間拘束するなど）
- 5 謝罪や謝罪文を強要すること
- 6 他の病院利用者や病院職員に恐怖感や迷惑を与える言動（大声や奇声を上げる、物を叩くなど）
- 7 SNSなどを利用した、病院もしくは病院職員に対する誹謗中傷や同意を得ない個人情報の公開
- 8 病院職員に対する性的な言動やストーカー行為（職員にみだりに触れる、卑猥な発言など）
- 9 医療従事者の指示に従わない行為や病院のルールを守らない行為（飲酒、喫煙、無断離院、危険物の持ち込みなど）
- 10 退院を指示されたにもかかわらず、退院に応じないこと
- 11 病院側の上承を得ず撮影や録音をすること
- 12 正当な理由もなく院内に立ち入ること、不当に院内に長時間とどまること
- 13 院内の機器類等の無断使用、持ち出し、または器物破損行為
- 14 上記各号に定めるもののほか、他の病院利用者や病院の迷惑と判断される行為、または医療に支障をきたす迷惑行為、その他違法・不当な行為

東京都立松沢病院長

外来診療のご案内

初めて診療を希望される方

◆松沢病院では、初診予約制を導入しています。
事前に予約センターで予約をお願いいたします。

- 精神科 ●内科（一般・専門） ●外科
- 整形外科 ●形成外科 ●脳神経外科
- 麻酔科 ●歯科

◆診療の予約は
「予約センター」（03-3303-8379）に
お電話ください。
予約受付時間 月～金曜日 8時30分～17時15分
土曜日 8時30分～12時45分

初回にご持参いただくもの

- 紹介状
- 健康保険証
- 各種医療券
- 診察券（松沢病院の診察券をお持ちの場合）
- レントゲンフィルム・検査結果等（必要な場合のみ）

◆当院精神科通院中で
緊急の受診や緊急入院が必要な場合は
代表番号 03-3303-7211 に
お電話ください。



ここに、深呼吸。



松沢病院通信

vol. 77
2025
September

新体制紹介号

4月1日から新体制での病院運営がスタートしました。
今号では新たに就任及び昇任した職員の紹介をいたします。

院長から皆様へ



本年4月、水野雅文先生の後任として松沢病院第20代院長に就任いたしました。当院が明治以来の長い歴史を持ち、多くの名だたる先達が奉職してわが国の精神医療を牽引してきたことを思い、院長の責務の大きさを重く受け止めております。これまで大学精神医学講座ならびに附属病院精神科勤務を通して培ってきた診療・教育・研究の知識と経験を最大限に生かし、当院の発展に貢献すべく努力する所存です。幸い齋藤正彦名誉院長のご指導と多数の優秀なスタッフの尽力に支えられ、着任から今日までの日々を送ってまいりました。

当院の最も重要な使命は、都民のための精神科医療センターとしての役割の遂行にあります。本年度あらためて「誰ひとり取り残さない精神科医療の提供 ～精神科医療の最後の砦～」を当院の理念に掲げ、職員一丸となって夜間・休日を含む精神科救急医療や精神科身体合併症医療への対応に注力しております。同時に、現在当院が東京都の拠点病院あるいはセンターとして任ぜられている分野である摂食障害医療、アルコール等依存症医療、ならびに認知症医療への取り組みにも今後一層力を入れていく必要があると考えています。

常に学びの気持ちを忘れず、地域の医療・福祉機関職員の皆様のお声はもちろんのこと、広く都民の皆様のお声にも耳を傾けてより良い松沢病院をつくっていきたいと考えております。皆様どうぞご提言・ご要望をお寄せくださいますようお願い申し上げます。

院長 布村明彦

就任あいさつ

精神科部長に就任しました源田圭子と申します。1999年に研修医として松沢病院に就職以後、松沢病院、墨東病院、精神保健福祉センターなど、都の施設で勤務し、2024年に18年ぶりに松沢病院に戻ってまいりました。墨東病院においては身体各科との連携、精神保健福祉センターにおいては地域との連携、アウトリーチ、依存症の回復支援、災害時支援を経験してきました。これまでの経験を活かして、地域で支援を行う方々との連携をさらに活性化して患者さんご本人やご家族の困りごとにかかわり、解決に取り組んでいきたいと考えています。松沢病院の理念である「誰ひとり取り残さない精神科医療の提供」の実現に尽力いたします。どうぞよろしくお願い申し上げます。

精神科部長
源田圭子

このたび、4月1日付で医事専門課長を拝命いたしました篠原誠と申します。前職では墨東病院で医事専門課長を務めており、このたび松沢病院に28年ぶりに勤務することとなり、懐かしさとともに身の引き締まる思いを感じております。

現在、2040年とその先を見据えて検討されている新たな地域医療構想において、精神科医療が重要な役割を果たすよう位置づけられており、その重要性はますます高まっています。これまで以上に研鑽を積み重ね、地域医療に貢献してまいりたいと考えております。

松沢病院の理念である「誰ひとり取り残さない精神科医療の提供－精神科医療の最後の砦－」の実現を目指し、質の高い精神科および身体科医療を提供するべく、事務職としてその基盤を支えていく所存です。

今後とも、皆様方のご指導・ご鞭撻を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

医事専門課長
篠原誠

4月1日付で多摩総合医療センターより着任した古田朱美と申します。入職は八王子小児病院（約90床）で新生児看護からスタートし、広尾病院、小児総合医療センター、多摩総合医療センターで勤務をしてまいりました。

看護学生の精神科看護実習以来“X”年ぶりに松沢病院に足を踏み入れ、改めて広い敷地と環境の素晴らしさに圧倒されました。精神科看護は、人とひとのかかわり合いの源に介入を行う分野です。着任後は、日々新たな刺激と発見に驚きとワクワク感を感じています。皆さまにご支援をいただきながら、今までの経験を活かしてやわらかい思考でより良い松沢病院になるように力を尽くして行きたいと思えます。今後ともよろしくお願い申し上げます。

副看護部長
古田朱美

4月より昇任異動で松沢病院の副看護部長として着任いたしました片岡明美と申します。今はなき松沢看護専門学校を卒業以来、旧公社病院で看護師としての経験を積み重ねてまいりました。今回、何十年振りに松沢の地を踏みしめ、管理職1年目としての新たな一歩を松沢病院で踏み出すことができたことに、とても感慨深い気持ちであります。また、精神科の専門病院として古い歴史を持つ松沢病院で、初めて精神科看護に携わる機会を与えていただき、心機一転様々なことにチャレンジしていきたい気持ちと、新しい人との出会いやつながりに期待でいっぱいです。副看護部長として看護管理業務に向き合い、高い倫理感をもってやさしさと思いやりのある、松沢病院らしい看護を提供できるように尽力してまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

副看護部長
片岡明美

4月に検査科に着任した片山佳奈子と申します。墨東病院や駒込病院で勤務しておりました。精神科の患者さんに安心して生理検査や検体検査のための採血をうけていただけるよう日々努力しています。今までとは違う声かけなどが必要なようです。また検査科では地域の病院からの医療連携で多種の検査も受け入れています。医療連携の超音波検査が増えつつあるようですので、自分も検査できるようにしていきます。世田谷区の病院勤務は初めてですが、以前はボロ市通り近くに住み、弦巻小学校に通学していました。世田谷愛が強めです。松沢病院でこれまでの経験を生かして楽しく仕事をしてまいります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

検査係長
片山佳奈子